



蒲郡市公共施設マネジメントニュース

塩津地区と西浦地区の「地区個別計画」を策定しました。

平成30年8月、塩津地区・西浦地区の小学校や中学校、保育園、児童館、公民館(地区利用型施設)の再編内容や今後の取り組みについて示す「地区個別計画」を策定しました。(計画の内容は中面に記載しています。)

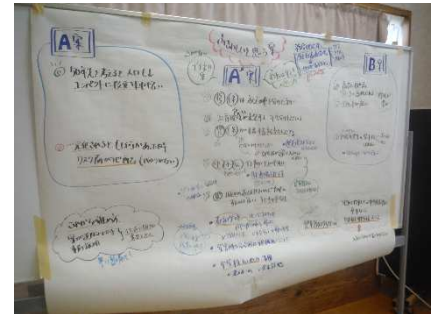
蒲郡市では、各地区にお住まいの方が主な利用者となる地区利用型施設については、地域の特性や特徴を施設に反映し、再編がまちづくりにつながるように、中学校区ごとに住民の皆さまのご意見を踏まえて「地区個別計画」の策定を進めています。

塩津地区・西浦地区についても、計画の検討過程において、地区の皆さまから多くのご意見をいただきました。



まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

塩津地区・西浦地区にお住まいの皆さま(各地区30名)にお集まりいただき、約半年間にわたるワークショップを実施しました。地区の課題や今後のまちづくり、公共施設について話し合いました。



パネル展示型説明会

地区内の様々な施設において、パネル展示型説明会を行いました。市の現状やワークショップの検討内容をお伝えし、どんな地区になってほしいか考えていただきました。



イオン蒲郡店

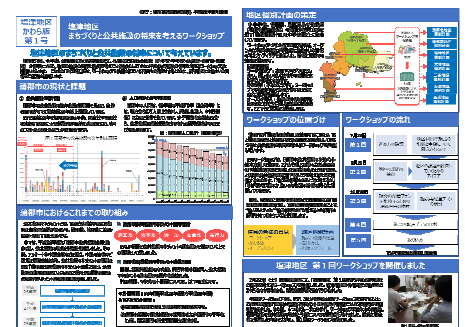


しゅうら児童館

かわら版

ワークショップ各回の検討内容をお知らせし、同時にご意見の募集を行いました。

「広報がまごおり」とともに地区内の全世帯に配布しました。



地区の皆さまの思い(抜粋)

【塩津地区】

- 地区内の保育園で低年齢児保育や延長保育を実施してほしい
- 子どもの通学・学習環境は維持してほしい
- 地域の中心となる活動拠点が必要
- 公民館を多世代・多国籍の集まる施設にしたい

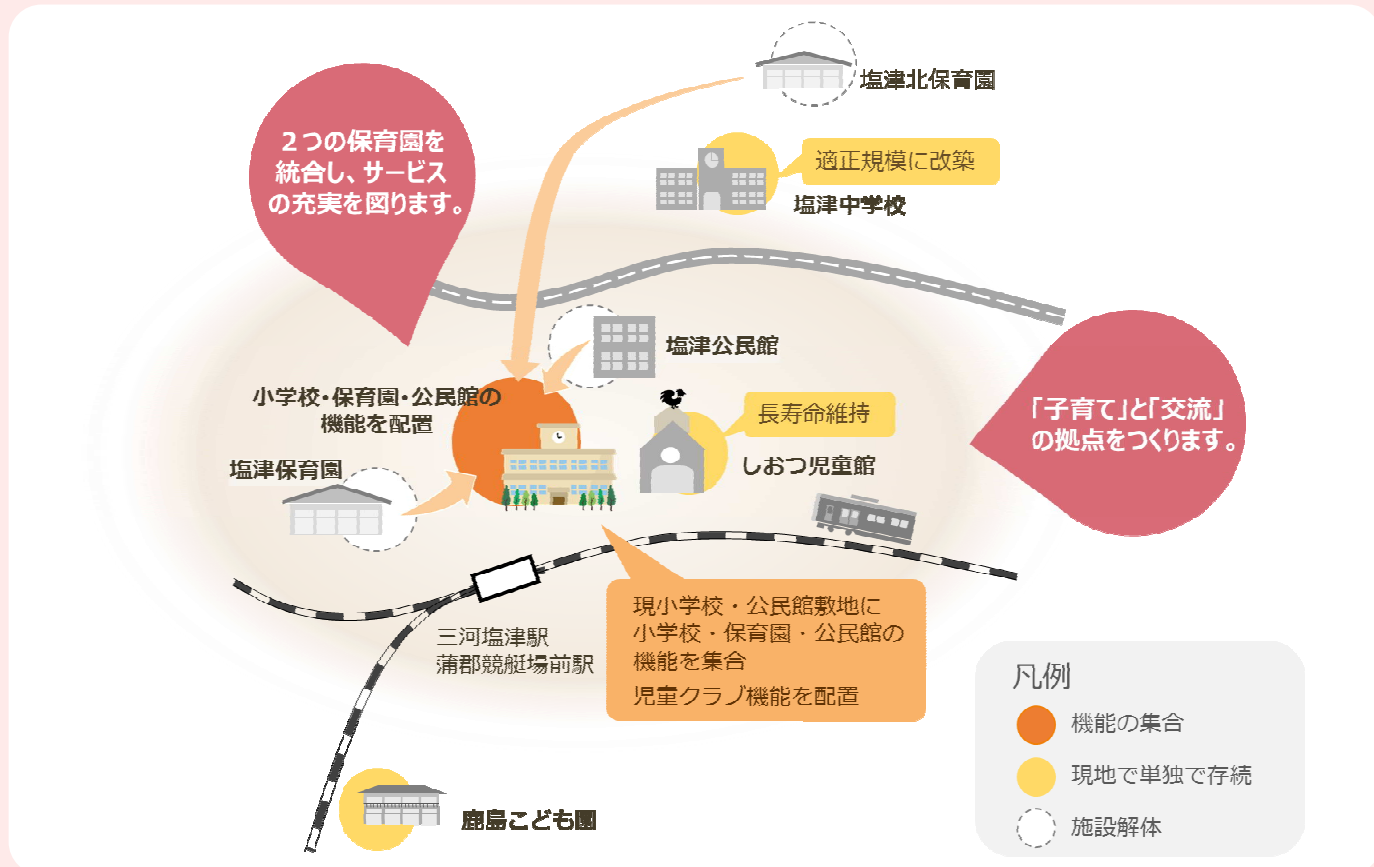
【西浦地区】

- 多くの人と接することのできる環境のほうが、子どもたちの成長にとって好ましい
- 子どもたちと地域のつながりが必要
- 一体感のある西浦のランドマーク的施設がよい
- 高齢者のコミュニティの場・活躍の場がほしい

塩津地区個別計画

コンセプト

集まりやすい位置に「子育て」と「交流」の拠点をつくる



施設再編の内容

- 小学校・保育園・公民館の機能を現在の塩津小学校と塩津公民館の敷地に集合させ、「子育て」と「交流」の拠点を形成します。
- 塩津保育園と塩津北保育園は統合し、低年齢児保育と延長保育が実施可能な規模の保育園を整備します。
- 児童クラブの機能は、小学校と同じ敷地に設けます。
- 塩津中学校は、現地で適正規模に改築します。
- しおつ児童館は、現地で長期にわたって利用できるよう適切に維持していきます。

期待される効果

子育て環境の充実

保育園のサービス向上や送迎時の負担軽減

交流の活性化

集まりやすい位置に拠点が設けられる

活動の拡大・充実

施設間の相互利用や運営面での連携

費用の縮減

運営の効率化や施設の一元管理

今後の取り組み

小学校 + 保育園 + 公民館の新施設

平成30年度から平成31年度にかけて、敷地内の機能配置や管理運営方法、ソフト事業等の検討を行い、基本計画としてまとめます。

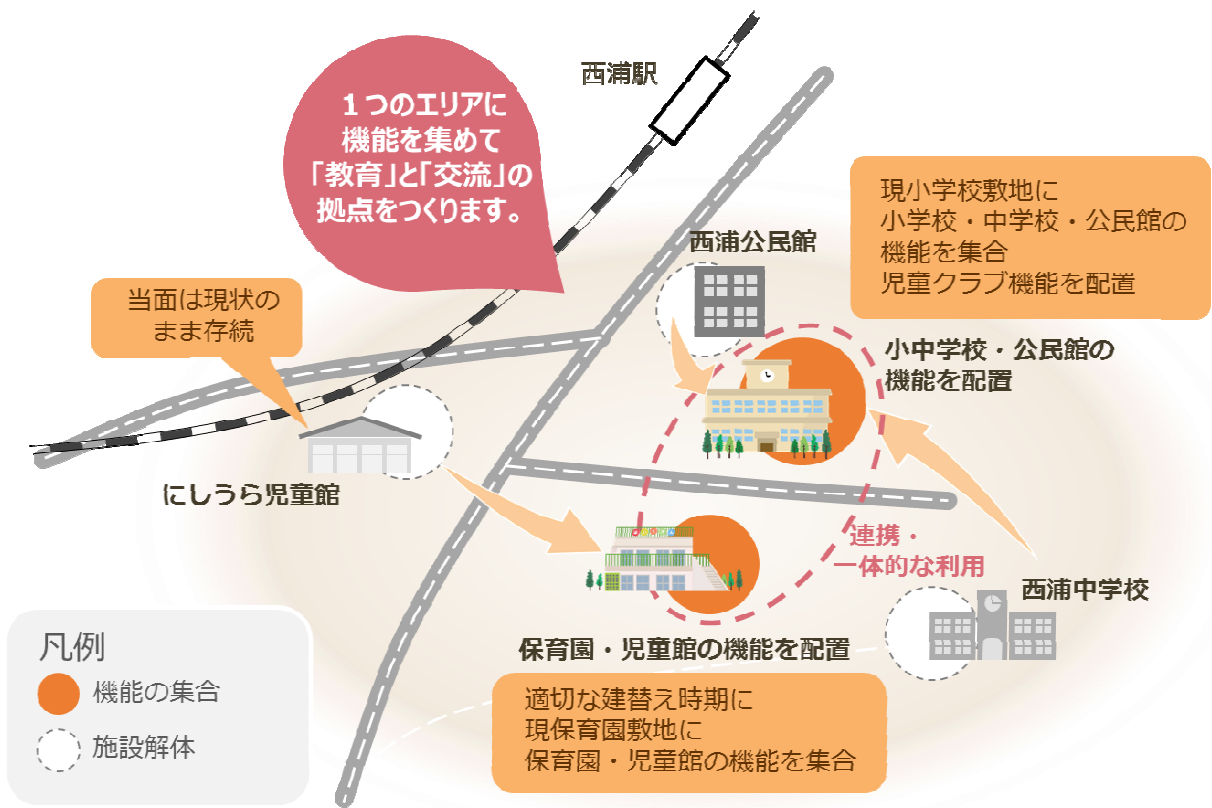
中学校

当面は現在の施設を使用し、老朽化状況等を踏まえ順次改築を実施します。

西浦地区個別計画

コンセプト

機能を集めてつながりを持たせ、「教育」と「交流」の拠点をつくる



施設再編の内容

- 現西浦小学校と現西浦保育園の敷地を活用し機能を集め、互いにつながりを持たせることで「教育」と「交流」の拠点を形成します。
- 小学校・中学校・公民館の機能を現在の西浦小学校の敷地に集合させます。
- 児童クラブの機能は、小学校と同じ敷地に設けます。
- 現西浦保育園及び現にしうら児童館は、施設が比較的新しく活用できるため、当面は現地に残し、適切な建替え時期に現在の西浦保育園の敷地に機能を集合させて整備します。

期待される効果

教育環境の充実

小中学校の併設による授業の連携

子育て環境の充実

児童クラブの小学校内への設置により子どもの移動時の危険がなくなる

交流の活性化

学校施設を利用した地区行事の実施

活動の拡大・充実

費用の縮減

今後の取り組み

小学校+中学校+公民館の新施設

平成30年度から平成31年度にかけて、敷地内の機能配置や管理運営方法、ソフト事業等の検討を行い、基本計画としてまとめます。

保育園・児童館

両施設とも当面は現地で存続し、老朽化状況等を踏まえ機能の集合に向けた具体的な検討に着手します。

蒲郡中学校区・三谷中学校区の計画策定に向け、検討を進めています。

平成30年度は、蒲郡中学校区・三谷中学校区において、地区にお住まいの皆さまのご意見をお聞きする取り組みを進めています。

7月から「まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を開催し、各地区の幅広い世代、様々な立場の方にお集まりいただき、ご意見をいただいています。

人口減少や少子高齢化など社会状況が大きく変化する中で、将来を見据えたときに公共施設はどうあるべきか、どのような配置・使い方をするとより暮らしやすい地区になるのか、それぞれの方が将来について考え、意見を出し合っていました。



このワークショップのほか、ワークショップに参加していない方々のご意見をお聞きするため、今後、地区内の多くの方が集まる場所でのパネル展示型説明会の開催を予定しています。

また、ワークショップの各回実施後、「かわら版」を地区内の全世帯に配布し、検討している内容をお知らせするとともに、皆さまからのご意見を募集しています。

検討対象施設

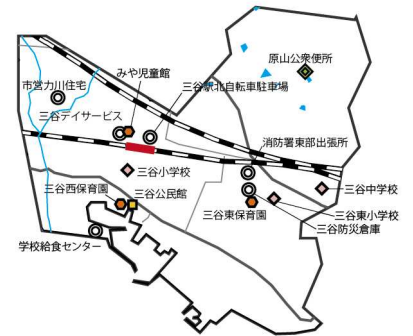
蒲郡中学校区

- 蒲郡南部小学校
- 蒲郡東部小学校
- 竹島小学校
- 蒲郡中学校
- 東部保育園
- 府相保育園
- 南部保育園
- がまごおり児童館
- 蒲郡公民館
- 小江公民館
- 府相公民館
- 東部公民館



三谷中学校区

- 三谷小学校
- 三谷東小学校
- 三谷中学校
- 三谷西保育園
- 三谷東保育園
- みや児童館
- 三谷公民館



府相保育園



東部公民館



みや児童館



三谷小学校

このニュースは、公共施設マネジメントの取り組みについて広く市民の皆さまに知っていただくことを目的として発行しています。「塩津地区個別計画」「西浦地区個別計画」やこれまでの取り組みについては、蒲郡市のホームページにも掲載しています。また、今回発行した「地区個別計画」については、各公民館・図書館・市役所財務課に設置してあります。

<http://www.city.gamagori.lg.jp/site/management/>

